

環境教育 News

発信元:被災地里山救済・地域性苗木ネットワーク

〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1

長野大学環境ツーリズム学部内

TEL 0268-39-0136

この資料はご自由にどうぞ(無料)。平成25年4月発信

たねぷろじえくと(正式名:被災地里山救済・地域性苗木生産プロジェクト) ワークショップ開催

ワークショップ(1)種子の採取

日程: 2013年5月11日(土) 9:00~12:00

会場: 白石第二小学校(宮城県白石市) 参加校: 白石第二小学校、長野大学

ワークショップ(2)種子の蒔き出し

日程: 2013年5月18日(土) 9:00~12:00

会場: 塩田西小学校(長野県上田市) 参加校: 長野大学、塩田西小学校、ほか

東日本大震災で津波の被害を受けた宮城県南部の里山を再生させることを目的に、小学生児童と大学生の協働によって、被災地の種子から苗木を育てる「たねぷろじえくと」が2013年4月にスタートしました。

来る5月に、「たねぷろじえくと」立ち上げの活動として、「ワークショップ(1)種子の採取」および「ワークショップ(2)種子の蒔き出し」を開講いたします。これらのワークショップを通じて、宮城県白石市の白石城「益岡公園」と同県山元町の深山山麓少年の森「菱沼の郷」の林から種子を採取し、その種子を長野大学に持ち帰り、校舎屋上のプランター(自動給水システム付き)に蒔き出します。また、ワークショップでは、植物の種子と葉の形を学ぶクイズ形式のゲームを行って、これから育てる苗木の種類や特徴を楽しみながら学びます。

「たねぷろじえくと」の詳細については、パンフレットをご覧ください。



【たねぷろじえくとが目指すこと】

2013年4月から3年間、次のことに取り組みます。

(1)被災地のために貢献したいと思う長野県民と、被災地の里山を再生させたいと願う宮城県民の有志を束ねて、被災地の種子由来の地域性苗木を長野県と宮城県で生産し、その苗木を被災地に植栽するまでの過程を支える「被災地里山救済・地域性苗木生産ネットワーク」を構築します。

(2)「環境教育プログラム」を開発・実践し、未来を担う若い世代(小学生~大学生)の協働によって被災地の地域性苗木を生産します。

(3)他者を思いやり、被災地復興のために何ができるのかを真剣に考えることができる“想像力豊かな心”と、その思いを行動で示すことができる“温かみのある人間力”を育てます。

この件に関するお問い合わせ先

被災地里山救済・地域性苗木ネットワーク代表・高橋 一秋(たかはし かずあき)までお願いいたします。

TEL : 0268-39-0136(ダイヤルイン) 携帯 : 090-4379-2828 E-mail : k-takahashi@nagano.ac.jp

たねぷろじえくと(正式名:被災地里山救済・地域性苗木生産プロジェクト) ワークショップのプログラム

ワークショップ(1)種子の採取

■日時: 2013年5月11日(土) 9:00~12:00

■会場: 白石第二小学校、白石城「益岡公園」(宮城県白石市)

■目的: ①「たねぷろじえくと」の目的を参加者全員で共有する。②白石城「益岡公園」の林から種子を採取する。③これから「たねぷろじえくと」を担っていく参加者同士(小学生児童と大学生)の親睦を深める。

■プログラム:

9:00~9:10 たねぷろじえくとの紹介

9:10~9:40 アイスブレイキング(植物の種子と葉の形を楽しみなら学べるクイズ形式のゲーム)

9:40~10:00 バス移動

10:00~10:30 種子の採取(白石城「益岡公園」)

10:30~10:50 バス移動

10:50~11:00 休憩

11:00~11:30 種子の蒔き出し(白石第二小学校)

11:30~12:00 グループワーク(未来の森を描く)、まとめ

ワークショップ(2)種子の蒔き出し

■日程: 2013年5月18日(土) 9:00~12:00

■会場: 塩田西小学校(長野県上田市)

■目的: ①「たねぷろじえくと」の目的を参加者全員で共有する。②被災地の種子をプランターに蒔き出す。③これから「たねぷろじえくと」を担っていく参加者同士(小学生児童と大学生)の親睦を深める。

■プログラム:

9:00~9:15 たねぷろじえくとの紹介

9:15~9:45 アイスブレイキング(植物の種子と葉の形を楽しみなら学べるクイズ形式のゲーム)

9:45~10:45 種子の蒔き出し(塩田西小学校)

10:45~11:00 休憩

11:00~11:50 グループワーク(未来の森を描く)

11:50~12:00 まとめ

「たねぷろじえくと」を支える2つのプロジェクトの紹介

長野大学では、「AUN長野大学恵みの森再生プロジェクト」(研究)[2007年5月~]と「森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育:森の恵みクリエイター養成講座(平成20~22年度「質の高い大学教育推進プログラム」(教育GP)選定)」(人材育成)[2008年12月~]の2つのプロジェクトに取り組む中で、利用価値を失いつつある森林の生態系サービスを再生・活用・保全し、持続可能な地域社会の構築に貢献することを目指しています。これらの活動の成果は「里山再生ツールキット」(里山を再生・活用・保全するための知識・技術が詰まった道具箱)としてまとめ上げ、地域社会に発信していきます。「たねぷろじえくと」で取り組む地域性苗木の生産は、里山再生ツールキットの開発を進める中で生み出された一つのツールです。

「屋上を活用した森林種苗生産」(<http://gp-morinomegumi.nagano.ac.jp/modules/d3blog/details.php?bid=44>)